

シルバー さんむ

第14号 平成28年9月

公益社団法人
山武市シルバー人材センター
〒289-1523山武市松尾町五反田3012
☎0479-86-6616 Fax0479-80-8280
ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/sambu/>
E-mail sammu@sjc.ne.jp



シルバー会員の作業風景

～夏の就業～

リオデジャネイロのオリンピックでの日本人の活躍した姿が印象的な夏でした…。
当センターの会員さんも暑さに負けず、プール施設の開園前清掃や来園するお客様の
駐車場呼び込み、お風呂清掃など夏期の就業で大活躍でした。

平成二十八年度定時総会

六月十八日（土）午後一時から、さんぶの森文化ホールにて、定時総会が開催されました。

来賓の椎名千収市長、越川哲市議会副議長、並びに当センターの賛助会員である松下浩明県会議員、今関恒市議会議員、長谷部竜作市議会議員からご祝辞を頂きました。

総会の議長には、土屋敦保会員が選任され、定足数（会員数三八三名、出席会員一三三名）うち議決権行使書・委任状提出者一七一名）を確認、定数である過半数の出席が確認され、総会の成立を宣言し、議事録署名人に太田泰彦・川島勅男会員を選出し、報告事項及び決議事項が審議され承認されました。



【報告事項】

- ・平成二十七年度収支補正予算の件
- ・平成二十七年度事業報告の件
- ・平成二十八年度事業計画の件
- ・平成二十八年度収支予算の件

【決議事項】 原案通り可決承認

- ・第一号議案 監査報告並びに平成二十七年
度貸借対照表、損益計算書及び
財産目録承認について
- ・第二号議案 理事十二名の選任について
- ・第三号議案 監事二名の選任について

なお、総会終了後に開催された臨時理事会で、会長河野大治、副会長藤田進久、常務理事津久井知世が選任されました。また、この総会をもって、樋口勝利氏、星久木義雄氏、長島良雄氏、山崎賢吉氏、藤田賢一氏が理事を退任されました。お疲れさまでした。



健康講話『笑いヨガ』の開催

定時総会終了後、大網白里市笑いヨガ同好会の皆さんを講師に招き、笑いヨガの講習を受けました。笑いヨガもインドが発祥です。普段は出さない大きな声で掛け声をかけて体を動かします。

初めは恥ずかしくなかったけど、段々と大きな声に……。おもしろおかしくなり、笑いすぎて涙が止まらない会員さんもありました。終わった後は、肩も頭もスッキリしました。



就任のあいさつ

会長 河野大治



この度の役員改選に伴い、会長を引き受けることになりました。もとより自身の微力さは重々承知致しておりますが、皆様方のお力をお借りしながら、当センターの発展に努力をさせていただきましますので、よろしくお願い致します。

さて、「一億総活躍社会」「生涯現役社会」この言葉を耳にする機会が多くなりました。それほど少子高齢化が進んでおり、高齢者が習得している知識、経験を含めた労働力を必要としなければならぬ現実があるのでは無いでしょうか。山武市においても例外ではなく、四月一日現在で六十五歳以上が一万六千五百七十一人であり、全体人口の約三十一%に届く高齢化率とのことです。高齢者の「居場所」と「出番」が地域社会にとって必要な現状となってきました。

今年、第一次中期計画の最終年度です。基本理念は当然として、基本計画に掲げた「まちの便利屋さん」として地域に愛され親しまれる」を含めた五項目に沿って、立ち止まらることなく、皆様方の助言、お知恵を頂きながら進んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

退任にあたって

小川 憲治



今年も大変厳しい暑さが続きましたが皆様には元気で過ごしのことと思います。

さて、私ごとですが、六月十八日の総会にて任期満了となり、それに伴いまして新会長に職務を引き継ぎ退任いたしました。

在任中は、役職員の皆様をはじめ、多くの会員・関係者の皆様のご理解とご協力により、大過なく任務を果たすことが出来ました。

心より厚くお礼申し上げます。

この二年を振り返ってみますと、私にとって大変恵まれた時期にありました。既に事務所機能も統一され、必要な体制が整った中で就任であったため、良い環境の中で任務をさせていただきました。このような事から、各種事業・独自事業も順調に進むことが出来ました。

また、十周年記念事業は実行委員さんを中心に、会員の皆様の協力を得て盛大に終了し、記念誌も素晴らしいものとなりました。改めて深く感謝申し上げます。

今後は、河野会長を中心に市民の皆様信頼され、喜ばれる「まちの便利屋さん」として発展されますように。

終わりに会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。退任の挨拶とします。

接遇講習会

関口 憲一

七月十三日(水) 九時三十分より接遇講習会が行われました。

今回は、百五十箇所以上の全国のシルバークリウド代表の響れい(日々クレイとおつしやっぺい)講師をお招きして、のぎくプラザ視聴覚室において、「仕事を楽しむ為の共感コミュニケーション法」と題して行われました。特に印象に残った事は、ストップウォッチ片手に十一秒間で名前と好きな食べ物と好きな人をいって自己紹介をする事でした。十一秒という半端な時間を意識してしまいが、聞いている人に自分をアピールし好感をもたれるように印象づけるという事でした。例えば名前を言う時にニックネームや趣味などを言うとか、又お客さまの所ではお客様の子どもでも、自分を全ての人の目下になる事を心がけて仕事をする事で、スマセン、ゴメンナサイ、モウシワケアリマセン、が楽に言えるようになります。とても勉強になりました。今回受講なされた約四十名の皆さん、お疲れさまでした。又、楽しかったです。事務局長の皆様、ありがとうございました。次の機会には、もっともっと大勢の皆さんに受講して頂けたら良いなと思いました。



役員紹介

会長 河野 大治
 副会長 藤田 進久
 常務理事兼事務局長 津久井知世
 理事 秋吉 勝則
 片岡 功司
 押尾 陽雄
 新田 博
 三岡 憲二
 河井 英一
 高宮 清
 増田 富男
 横地 博 (高齢者福祉課長)
 野島 弘光
 小川 憲治



※総会に付議するべき事項と決定された事業に係る具体的内容、年度の事業計画・予算を審議し執行します。

各委員会委員紹介

●新規事業開拓委員会
 委員長 津久井知世
 理事 藤田 進久
 秋吉 勝則
 三岡 憲二
 河井 英一
 増田 富男

就業開拓員

塩崎 照夫
 川島 勅男
 高林千代美



※会員の能力を発揮する場を提供し、就業機会の促進をします。

●広報編集委員会
 委員長 戸村 茂昭
 副委員長 川島 房枝
 委員 新田 博
 片山 嗣雄
 関口 憲一
 行方 健
 渡邊いずみ



※広報「シルバーさんむ」年三回発行。作品展示会運営協力をお願いします。

●安全委員会

委員長 太田 泰彦
 副委員長 須江 康夫
 委員 葛西 米春
 岩崎 正利
 小倉 朗
 今関 清澄
 片岡 功司
 押尾 陽雄
 高宮 清
 関谷 一徳
 土屋 隆夫



※会員の健康と安全に関する事項を検討し、その対策を推進します。

●理事監事候補者選考委員会

(理事) 秋吉 勝則 片岡 功司
 (会員) 石井 陽雄 岩崎 正利
 押尾 陽雄 浜中 清治
 古谷 利水

※正会員及び特別会員で理事及び監事にふさわしい候補者を選考して、理事会に推薦します。

●女性部会

委員長 小川 友
 副委員長 藤崎きみ子
 委員 並木 ノブ
 秋葉 エシ
 石橋 幸代
 渡邊 しげ
 布留川 かつ
 大野 清子



※女性会員の増強や就業拡大及び親睦を図るため活動をお願いします。

●旅行クラブ

代表 石井 一郎
 須江 康夫
 五十嵐 一郎
 木志 正
 塩崎 照夫
 川島 勅男
 今井富士男
 高林千代美



※会員親睦旅行を企画します。ボランティアで協力頂いています。

新規職員紹介

藤田進久業務係の退職に伴い、五月から二名が臨時職員(主に山武地区担当業務係)として仲間入りしました。どうぞよろしくお願いします。

宮負 勲

尾高 秀征



ボランティア活動

参加者 一三七名

今年も、千葉県シルバ
ーの日「六月八日」にち
なみ、シルバー事業の普
及宣伝活動・地域社会へ
の貢献活動の一環として、
各地区に分かれ、剪定、
草刈や草取り等の清掃作
業を行いました。

今年の蓮沼地区は、道
の駅「オライはすぬま」
です。山武市の中でも、
ひととき賑わっています
よね。草取りの作業と合
わせてシルバーのリーフ
レットも配布しました。

ボランティア活動の六
月は、梅雨の時期でもあ
り、予定通りできるのか
天気予報とにらめっこ。
皆さんの日頃の行いが功
を奏して、全地区作業が
できました。

お疲れさまでした。
来年も自分たちの地域
をきれいにする「ボラン
ティア活動」に参加しま
しょう。

蓮沼地区（六月二十二日）オライはすぬま



成東地区（六月二十九日）しらはたこども園



松尾地区（六月二十日）松尾中学校



山武地区（六月八日）山武福祉作業所・睦岡学童クラブ



十周年記念事業を終えて

山武市シルバー人材センター平成二十七年四月二十三日の設立十周年記念式典及び記念誌「さんむ」の発行を無事に終え「設立十周年記念事業実行委員会」の任期も終了となりました。

今回の事業では委員を始め、多くの会員の皆様のご協力を頂きました。記念式典では、すみれサークルには受賞者のコサージュや記念品の祝賀の製作。また、開催通知の宛名書き、表彰状の筆耕、式典の前日準備や当日の受付や会場への案内、駐車場係など。記念誌では、原稿の執筆や写真提供。みんなで作上げた事業となりました。記念誌では式典の様子を掲載しましたが、そこでは載せきれなかった写真や、実行委員会の委員の方々の感想を紹介致します。

委員長 小川 憲治

記念事業が終わって、後を振り返ってみると式典は厳粛な内にも盛大に楽しい中で幕を閉じることができ、実行委員さんとの反省会も意義のあるものとなりました。記念誌も素晴らしい出来栄えだと、お褒めの言葉もありました。これは関係者一人ひとりの努力の成果であります。皆様にはたいへんご苦労様でした。

副委員長 津久井知世

私が担当の式典班は、早い段階で一人目の講師が病気のために変更。二人目もご存じのとおり変更。三人目の正直となったヨネスケさんのお話に笑顔で楽しんで皆さんの様子に、私も一緒に楽しむことができました。ヨネスケさんも山武市シルバーパワーに元気をもらったと話してました。十四人の委員の皆さんと共に悩み共に学んだ貴重な十四ヶ月でした。

式典班



班長 河野 大治

暗中模索に近い過程を繰り返しながら、当日を迎えました。式典は、私語もなく粛々と厳かに進みました。すばらしいの以外見つかりませんでした。出席された方々に感謝です。記念講演の講師も、諸般の事情で二転三転しました。こんなにも笑ったのは久しぶり。ヨネスケさんありがとうございました。

並木 ノブ

実行委員となり、初めは何をしたら良いかと不安でしたが、記念式典の開催に向け委員の皆さんと話し合いをしたり、当日の昼食のお弁当を試食をしたりと楽しい時間を過ごすことができました。

布留川 かつ

センターに入会して間もない私が実行委員なんて、ちよっと緊張！何をするのか分からないまま参加し、回数を重ねながら何かを決めることの大変さ。式典の内容を何度も話し合い意味ある言葉の選び方。また、委員さんの中にはすばらしい方々がいて、参加させて頂き勉強になり、委員会が楽しみでもありました。

藤田進久

記念事業は、一年前より準備を始め、年が明けるとあつという間に四月二十三日を迎えました。特に式典は一発勝負でありますので、気が抜けない当日でした。



幸い、式典参加者の皆様のご協力により、おかげさまで滞りなく式典を行うことができました。ご協力ありがとうございました。

記念誌班

班長 戸村 茂昭

記念事業の実行委員になってくれ、と事務局長から白羽の矢を射られ広報委員をやっていたので気安く引き受けたが、互選で記念誌班班長に運悪く選ばれ正直なところ責任の重圧で潰れそうになった。が、自主・自立、共働・共助の理念をわきまえた委員の皆さんの協力により、お蔭様で立派に完成しほつとしています。

星久木 義雄

設立十周年の節目の記念事業に役員として皆様と共に参加することができ誠に幸せでした。記念誌では、社団法人として設立し六年、公益法人に移行し四年この十年間の記録を振り返り、進歩し成長した内容が十分編集され、歴史を残すことこの目的を果たせ発刊できたと思います。この記念誌「さんむ」がこれからの歩みの指針になることを望みます。

長島 良雄

記念誌の発刊お喜びいたします。一年以上の工程の中一喜一憂し、その中で完成三ヶ月後を前に緊張感も高まる時に、記念誌に式典の様子を掲載する提案があり、これにはびつくりしました。説明を聞くと、発刊を予定していた四月から六月の総会での配布に。想像していなかった事であるほどと提案が決定。その時の場面が印象に残った。掲載して良かった。今は心地良い思い出である。

設立十年を迎え、これを機に十周年記念誌を作ることに私もその一員に加えられた。途中それぞれの地区の回顧録を書くことになり、あらためて一昔前を思い返してみた。

シルバーに関わって十六年。細かい事は霧の中だが、合併や法人化や事務所移転等々心に残ることもあり、当時色々な場面で関わりがあった方々たちの面影まで浮かんで懐かしかった。一年後、戸村班長のリーダーシップと事務局高林さんの熱意に助けられ、立派な記念誌が刊行された。記念式典も非の打ちどころなく立派に実施され、次のステップを踏み出す良い区切りとなった。

長谷川 祐剛

入江 利子

この度は十周年記念事業実行委員に選出して頂きありがとうございます。会議中はいろいろと意見を出し合って楽しく過ごさせていただきました。もうこれで終わりですか？残念です。これから先も二十周年、三十周年と迎えることと思います。今後のシルバー人材センターの益々のご発展をご祈念致します。

川島 房枝

とても光栄な役を頂き大変な責任と不安で一杯でした。蓮沼地区の担当を記者になったつもりで取材しましたが、なにせ十年という月日はあまりにも長くて、思い出してもらえないことは、なかなか難しい事でした。それでも小さな記事でも活字になったときはうれいものでした。立派な式典にも参加できましたことは私の一生の誇りになりました。

今井 富士男

センター業務係職員として、設立十周年を迎えることができました。昨年二月から準備を開始した記念誌班の一員として、微力ながら

ら記念式典並びに記念誌発行に参画できましたこと、大変光栄に思っております。委員の皆様、原稿執筆や写真提供等くださった皆様ご協力ありがとうございました。

高林 千代美

出来上がった記念誌を手にしたとき、熱い思いがこみ上げてきました。職員として記念誌班の担当となり、何から手を付けてよいか、不安いっぱいでしたが、委員の皆さんとたくさんの意見を出し合い、それに答えてくれた原稿執筆にご協力いただいた皆さん、全員で作り上げた十年の歴史が完成しました。この十四ヶ月、一緒に自分の十年も振り返ることができ貴重な時間でした。



熊本地震義援金の報告

山武市社会福祉協議会を通して日本赤十字に募金いたしました。ご協力ありがとうございました。
募金額 47,600円



旅行クラブより

今年度の親睦旅行は、来年2月か3月頃で計画中です！
楽しみにして下さい。



文芸

短歌

むし暑き

朝の稲田に

白々と

沢瀉の花 静かに開く

おもだか 沢瀉の花



久々の 梅雨の晴れ間にいも苗を 一株ごとに 心をこめて

料理教室に レシピを見つつ 炊き上げる

そら豆ご飯の 香り喜ぶ

土屋敦保

俳句

炎天に 燃えて涼やか

百日紅

戸村茂昭

キラキラと まあるく見ゆる 夏の海

関口宙海



設立十周年記念式典の様子(写真集)



編集後記

七月二十一日の広報委員会、今年度の事業計画と「シルバーさんむ」の第十四号について、広報委員の自己紹介が行われました。七名の委員の中、四名が新人になりました。若い風が入って参りました。シルバーに入会する前の職業や、特技や趣味等の紹介がありまして、今後の広報も熱気溢れたものが皆様の前にお届けられることと思います。

さて、今回の広報誌は、新会長をはじめ、事務局職員、各委員会に携わっている方々の紹介と、十周年記念誌「さんむ」に載せきれなかった記念式典の様子も掲載されておりますので、四月二十三日の当時の状況を思い出しながらご覧下さい。次回二十周年の式典時には、出席できる方は何人いるでしょうか？生きていた証が残る記念誌・広報誌です。私たちは、良い時に遭遇いたしました。そう思って眺めて頂けたら幸いです。

色々な人との縁は、自分に刺激を与えてくれ、また、心の成長もさせてくれることでしょう。興味のある方は、各委員会に参加して、貪欲に新しい風から知識を取り入れて心豊かに過ごしてください。

広報委員 川島房枝

